



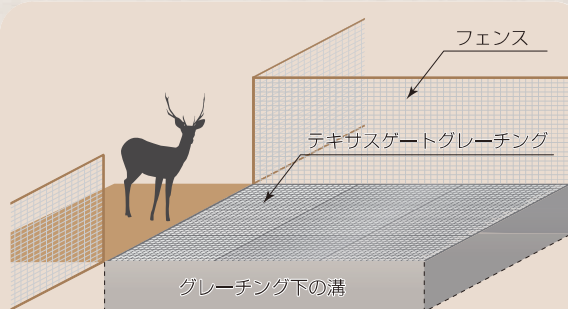
製品開発の背景

現在、獣害対策として一般的に行われているのは、防護柵によって農地や集落全体を囲う方法です。

しかし、動物の生息地と農地や集落の間にはいくつもの生活道が接続しており、生活道に防護柵を設置することはできないため、そこからの動物の侵入が容易になっています。

そこで、道路に使用可能で、かつ動物の侵入を防止することができるグレーチングの研究を行い、開発されたのが「テキサスゲートグレーチング」です。本製品を適切な状況に置いて使用することにより、動物の**侵入を抑制する効果**があります。

テキサスゲートグレーチングの構造



シカを道路脇に回り込ませないフェンス



テキサスゲートグレーチング



シカが歩行困難なグレーチング下の溝の深さ